

テープがいらないTV録画機として人気のHDD付きDVDレコーダー。
利点が欠点にもなっているというお話。解決はやはりホームネットワークでした。

1.DVDレコーダーとは、ビデオテープの代わりにDVDにTV番組を録画し、再生する製品です。DVDは、コンパクトで何回再生しても画質が劣化しません。発売当初は价格的に高価であったことにより一部のマニア向け商品でした。このDVDレコーダーを一気に魅力あ



る製品にしたのが、HDD(ハードディスクドライブ)です。実は、DVDレコーダーはビデオテープをDVDに置き換えただけ、つまりDVDを入れないと録画できないという本質的な部分は何も変わっていませんでした。この本質を変えることができたのがHDDです。HDDは、コンピュータの記憶装置として生まれましたが高価で、記憶出来る情報も少なかったためTV録画には不向きでした。しかし、劇的な低価格化と大容量化でTV番組の記憶装置として利用可能になりました。

2. とっても便利

便利さの第一は、テープやDVDを入れなくてもTV番組を録画できることです。急に録画を始めたいと思った時でも空きテープを急いで探す必要がありません。ただ録画ボタンを押すだけです。よく「**という番組が始まるから録画しといて」と電話で頼んだ

りしますが、案外番組が終了する前に帰宅できてしまうものです。録画を止めて途中から見るのも嫌ですが、番組終了後に再生して見るのじゃ寝るのが遅くなってしまふ...そんな時に便利なのが「追っかけ再生」。録画を続けているのに番組の先頭から再生できてしまうという技です。これはHDD付きのレコーダーにしか出来ないことです。

3.便利さが不便さになる不思議
テープやDVDがいらない便利なHDD付きレコーダーですが、テープが無いからこそ不便ということもあるようです。取り溜めした番組を見ようと思ったら子供がTVを占有...まあよくある話です。今までならビデオテープを取り出して別の場所で見れば済むことでした。しかしHDDに録画している番組を取り出すには、DVDに番組をコピーしなければなりません。コピーも短時間では終わらず、1度見たら十分というものをDVDにコピーするのも無駄です。記録する物がいらない便利さが別の場所で見るという使い勝手を悪くしているのです。

4.不便さを解消するホームネットワーク

松下電器産業や東芝のHDD付きDVDレコーダーにはLAN端子を持つものがあります。DVDレコーダーをホームネットワークにつなぎ、インターネットに接続できるようにすることでたくさんの新しい機能が生まれました。

最新の番組表をインターネットから取得することが出来ます。ホームネットワーク上のパソコ

ンから録画した番組の編集が出来ます。

携帯電話から自宅のDVDレコーダーに録画予約を送ることが出来ます。これで誰の手を煩わすことなく番組録画をすることが出来ます。

さらに、松下電器製の最新機種DMR-E500Hではホームネットワーク上にある別のDMR-E500Hに番組をコピーしたり、パソコン上でDMR-E500Hに記録されているTV番組を見たりすることが出来ます。このDMR-E500Hのホームネットワーク接続機能ですが、無線LANには対応していません。なぜなら無線LANは、画像転送には遅くて使い物にならないからです。



4. 情報家電接続は有線LANで

DMR-E500Hのような製品はこれからもたくさん登場します。ホームネットワークを有線LANで構築すれば、これから登場する全ての情報家電を接続することができます。有線LANは1度施工してしまえば、追加費用は一切ありません。複数の規格がある無線LANは今後どれだけの追加費用が必要になるかわかりません。インターネットを使わない生活は...楽しくないですね。